平成22年度
高齢者・障がい者向け自転車の
普及啓発事業報告書

「元気になる自転車」を求めて

この事業は競輪の補助金を受けて
実施したものです。
http://ringring-keirin.jp/

目　　次

事業概要　・・・・・・・・・　1ページ
高齢者・障がい者向け自転車状況調査　・・・・・・・・・　2ページ
高齢者・障がい者向け自転車カタログ　・・・・・・・・・　3ページ
高齢者・障がい者向け自転車展示会　・・・・・・・・・　4ページ
事前アンケート集計　・・・・・・・・・　5ページ
試乗会概要　・・・・・・・・・　7ページ
試乗会参加車種　・・・・・・・・・　8ページ
試乗車についての感想　・・・・・・・・・　9ページ
試乗会モニター・アンケート集計　・・・・・・・・・　10ページ
試乗会写真／広報　・・・・・・・・・　12ページ
ミニディスカッション　・・・・・・・・・　13ページ
総評　・・・・・・・・・　14ページ

事業概要

◆名　称：高齢者・障がい者向け自転車の普及啓発事業
◆目　的：加齢による障がいを含む身体の不自由を補い、自立を助けるとともに、動かせる運動器官を活かして健康維持や症状の改善に効果が期待できる自転車を発掘し、広く知らしめることにより、潜在するニーズと、開発普及の努力を喚起することで、より幅広い自転車の活用を促し、社会・文化の向上発展に寄与することを目的とする。
◆主　催：財団法人 日本自転車普及協会
◆協　力：社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団
◆期　間：平成22年9月～平成23年3月
◆概　要：（１）高齢者・障がい者向け自転車状況調査
◇全国のビルダー&メーカー調査
◇障がい者部位別分類調査
◇高齢者・障がい者向け自転車案内冊子の作成
（２）高齢者・障がい者向け自転車展示会
（３）高齢者・障がい者試乗会
（４）ミニディスカッションの開催

◇全国のビルダー＆メーカーへの ヒヤリング調査について

●主だった自転車メーカーのホームページから、高齢者・障がい者向けと明記された自転車を捜したが、該当するものはほとんど見あたらなかった。
●高齢者向けに配慮したとする製品はあったが、利用者のリハビリテーションの助けになるもの、との視点からは該当するものがきわめて少なかった。
●そこで、自転車活用推進研究会の恒常的なネットワークを通じて、会員及び名簿搭載された情報提供者約５，６９３名に該当する可能性のある自転車の存在と製造／販売に関する情報提供を呼びかけた。
●得られた情報を整理し、下記の企業・団体宛に調査票（右票参照・記入例）を送付した。
該当製品なしとの回答がほとんどであったが、個別に取材して、試作品などの存在も発見し、展示会／試乗会への参加を呼びかけた。
（一覧表においては情報提供者や企業の担当者の個人名、連絡先詳細を伏せた）

高齢者・障がい者自転車向けヒヤリング調査票（記入例）

会社情報			
ふりがな	カ）〇〇〇〇コウギョウ		
会社名	株式会社〇〇〇〇工業		
ふりがな	トウキョウト アダチク アオト		
所在地	〒 000-0000 東京都足立区青戸1－2－31		
代表電話番号	00-0000-0000	代表FAX番号	00-0000-0000
ふりがな	ダイヒョウトリシマリヤクシャチョウ スズキ タロウ		
代表者役職・氏名	代表取締役社長 鈴木 太郎		
担当部署	営業部		
ふりがな	ヤマダ タロウ		
担当者氏名	山田 太郎		
特記事項	販売は、〇〇〇〇サイクルに委託しております。詳しくは、〇〇〇〇サイクル 〇〇様までお問合せください。電話：0000-00-0000。		

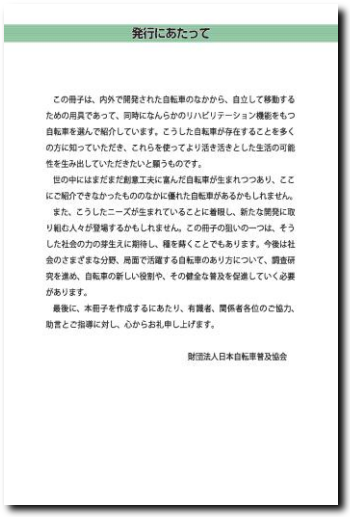
高齢者・障がい者向け自転車情報			
自転車のスペック		対応障がい部位（対象部位にチェック）	
重量	〇〇kg	上肢障がい手関節以上（片腕）	レ
外寸	高さ 00 cm × 長さ 000 cm ×幅 00 cm	上肢障がい肘関節以上（片腕）	
サドル高さ	00 cm ～ 00 cm	上肢障がい手関節以上（両腕）	
車輪数	前 1 輪 × 後 2 輪	上肢障がい肘関節以上（両腕）	
タイヤサイズ	前 20 インチ × 後 23 インチ	下肢障がい足関節以上（片足）	レ
変速機	3 段変速ギア付 ／ 変速ギアなし	下肢障がい膝関節以上（片足）	
電動アシスト	（有） ／ 無	下肢障がい足関節以上（両足）	
ペダル	（回転式） ／ 踏み込み式 ／その他（ ）	下肢障がい膝関節以上（両足）	
ブレーキ	ハンドブレーキ／フットブレーキ／その他（ ）	体幹障がい	
金額	00,000円 もしくは 00,000～00,000円など	膝	
納期	受注後〇ヶ月や即納（在庫あり）など	腰	
特記事項		手指	
		その他部位	主に上半身に障がいのある方に対応

自転車の特徴（箇条書きの文章で短めにお願いします）	
特徴①	低重心構造で安定性を向上
特徴②	ブレーキはハンドブレーキとフットブレーキを併用
特徴③	軽量フレーム
特徴④	ペダルにはノンスリップペダルを採用
特徴⑤	フレームパイプのメインパイプは、足またぎ性をよくするため低く設置

調査票送付先企業団体一覧（2010年10月現在）

企業／団体名	企業／団体名	企業／団体名
(有)アキコーポレーション	(株)丸石サイクル	静岡県西遠自転車商業協組
アサヒサイクル(株)	宮田工業(株)	自転車組合静岡支部
新家工業(株)	ヤマハ発動機(株)	愛知県自転車モーター商協組
(株)ARE	ランドウォーカー(株)	愛知県自転車製造卸協組
(有)エム、マキノサイクルファクトリー	(株) ワイ・インターナショナル	愛知県自転車防犯登録協会
(株)オーアンドエム	渡辺捷治製作所	愛知自転車健康保険組合
オートクラフト・IZU	北海道自転車軽自動車商業協同組合	三重県自転車軽自動車商業協組
(株)カワムラサイクル	青森県自転車軽自動車商業協同組合	滋賀県自転車軽自動車商業協同組合
(株)紀洋産業	岩手県自転車二輪車商業協同組合	京都府自転車軽自動車商協同組合
(株)興和製作所	宮城県自転車軽自動車商業協同組合	京都府自転車防犯登録推進協議会
(有)今野製作所	秋田県自転車軽自動車商業協同組合	大阪自転車健保組合
サイクルワールド	山形県自転車軽自動車商協同組合	大阪府自転車軽自動車商業協同組合
サイモト自転車(株)	福島県自転車軽自動車商工協同組合	堺自転車製造卸協同組合
(株)サカモトテクノ	茨城県自転車二輪自動車商協同組合	兵庫県自転車軽自動車商業協同組合
敷島自転車(株)	栃木県自転車軽自動車商業協同組合	奈良県自転車軽自動車商協同組合
(社)自転車協会	栃木県自転車軽自動車商業協同組合宇都宮支部	和歌山県自転車軽自動車商業協同組合
(財)自転車駐車場整備センター大阪事務所	群馬県自転車軽自動車商協同組合	鳥取県自転車軽自動車商協同組合
(財)日本自転車競技会	群馬県自転車軽自動車商協同組合桐生支部	島根県自転車軽自動車商協組
(株)ジョブインターナショナル	群馬県自転車量販店防犯協力会	島根県自転車軽自動車商協同組合出雲支部
全日本実業団自転車競技連盟	埼玉県自転車競技連盟	岡山県自転車軽自動車商協同組合
(株)ソシード技研	埼玉県自転車軽自動車商協組	岡山県自転車軽自動車商協同組合吉備支部
大日産業(株)	埼玉県自転車防犯協会	広島県自転車競技連盟
武田自転車(株)	千葉県自転車軽自動車商協同組合	広島県自転車協同組合
(株)テレウス	東京自転車健康保険組合	山口県自転車軽自動車商協同組合
東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン科	東京自転車商国民健康保険組合	徳島県自転車軽自動車商協同組合
(株)共に生きるために	東京自転車製造卸協同組合	香川県自転車軽自動車商協同組合
西日本自転車厚生年金基金	東京都自転車商協同組合	愛媛県自転車商協同組合
日本学生自転車競技連盟	神奈川県自転車商協同組合	高知県自転車二輪車商協同組合
(財)日本自転車競技連盟	山梨県自転車軽自動車商協同組合	福岡県自転車軽自動車商協同組合
日本自転車軽自動車商協同組合連合会	長野県自転車モーター事業協同組合	佐賀県自転車二輪車商協同組合
日本福祉用具評価センター	新潟県自転車軽自動車商協同組合	長崎県二輪車自転車商協同組合
服部産業(株)	富山県自転車競技連盟	熊本県自転車競技連盟
パナソニックサイクルテック(株)	富山県自転車軽自動車商業協同組合	熊本県自転車二輪車商協同組合
(株)深谷産業	石川県自転車軽自動車事業協同組合	大分県自転車商防犯協力会
ブリヂストンサイクル(株)	福井県自転車軽自動車商協同組合	大分県自転車二輪車商協同組合
ホダカ(株)	岐阜県自転車軽自動車商協組	大分中央自転車二輪車組合連合会
堀田製作所	静岡県軽自動車自転車商業協組清庵支部	宮崎県自転車二輪車商協同組合
(株)マツダ自転車工場	静岡県自転車軽自動車商業協組	沖縄県自転車商協同組合

これなら乗れそう！
「元気になる自転車」を求めて
高齢者・障がい者向け自転車カタログ
財団法人日本自転車普及協会
この冊子は、競輪の補助金を受けて製作しました。
http://ringring-keirin.jp


発行にあたって
この冊子は、内外で開発された自転車のなかから、自立して移動するための用具であって、同時になんらかのリハビリテーション機能をもつ自転車を選んで紹介しています。こうした自転車が存在することを多くの方に知っていただき、これらを使ってより活き活きとした生活の可能性を生み出していただきたいと願うものです。
世の中にはまだまだ創意工夫に富んだ自転車が生まれつつあり、ここにご紹介できなかったものなかに優れた自転車があるかもしれません。
また、こうしたニーズが生まれていることに着眼し、新たな開発に取り組む人々が登場するかもしれません。この冊子の狙いの一つは、そうした社会の力の芽生えに期待し、種を蒔くことでもあります。今後は社会のさまざまな分野、局面で活躍する自転車の在り方について、調査研究を進め、自転車の新しい役割や、その健全な普及を促進していく必要があります。
最後に、本冊子を作成するにあたり、有識者、関係者各位のご協力、助言とご指導に対し、心から お礼申し上げます。
財団法人日本自転車普及協会

目次
会社名
障がい部位対応表
所在地
ページ
株式会社 共に生きるために 栃木県 1
ブリヂストンサイクル株式会社 埼玉県 2
株式会社ARE 東京都 3
堀田製作所 東京都 4
株式会社マツダ自転車工場 東京都 5
サンバイクファクトリー 東京都 6
有限会社 オートクラフト・IZU 静岡県 7
株式会社 カワムラサイクル 大阪府 8
株式会社 紀洋産業 東京都 9
フランスベッド株式会社 東京都 10
ヤマハモーターエンジニアリング株式会社 静岡県 10
京都自転車研究所チャリラボ 京都府 11

株式会社 共に生きるために 栃木県
リフトン 三輪車
価格 210,183円～
所在地：〒324-0235 栃木県大田原市鍋之内 625-65 電話：0287-54-4823 FAX：0287-54-4824
担当：白崎一裕
-1-

株式会社マツダ自転車工場 東京都
LEVEL「優 U」
価格 126,000 円
所在地：〒116-0012 東京都荒川区東尾久 1-2-4 電話：03-5692-6531 FAX：03-5692-6532
担当：松田 直行
-5-

株式会社 ARE 東京都
XCL レクリエーション
価格 369,600 円～
リハトライク
価格 183,750 円～
所在地：〒206-0812 東京都稲城市矢野口 1 番地 グリーンヴィラ 2-102 電話：042-350-1960
FAX：042-350-2690
担当：齊藤 貴
-3-

堀田製作所 東京都
ラクラックーン・ミニ
価格 160,000 円
踏込三輪変速付
価格 260,000 円
補助輪付二輪（20 インチ）
価格 66,000 円
所在地：〒123-0873 東京都足立区西 2-9-20 電話：03-3890-8666 FAX：03-3890-8683
担当：堀田 勝一
-4-

株式会社マツダ自転車工場 東京都
LEVEL「優 U」
価格 126,000 円
所在地：〒116-0012 東京都荒川区東尾久 1-2-4 電話：03-5692-6531 FAX：03-5692-6532
担当：松田 直行
-5-

サンバイクファクトリー 東京都
サンリオモンテ
価格 50,000 円前後
所在地：〒158-0095 東京都世田谷区上野毛 4-24-2 電話：03-3700-1500 FAX：03-3708-8501
担当：降田一
-6-

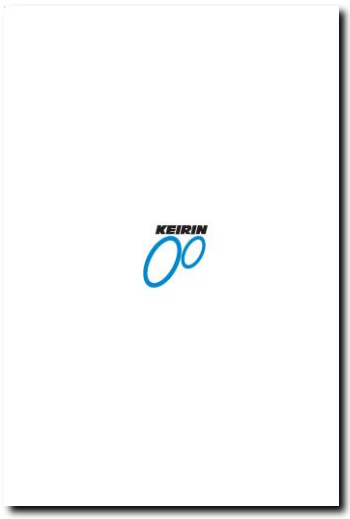
有限会社 オートクラフト・IZU 静岡県
元気 I
価格 180,000 円
元気 II
価格 170,000 円
元気 II 屋根付き
価格 210,000 円
所在地：〒410-2407 静岡県伊豆市修善寺 1340 電話：0558-72-5658 FAX：0558-72-1734
担当：高岡 芳伸
-7-

株式会社 カワムラサイクル 大阪府
ニュークール
価格 オープン価格
かるがもグランド
価格 オープン価格
所在地：〒564-0044 大阪府吹田市南金田 3 丁目 20 番 10（番）カワムラサイクル大阪 SC 内
担当：ランドフォーカー お問い合わせセンター 電話：06-6310-3380 FAX：06-6310-3381
-8-

株式会社 紀洋産業 東京都
風よ・・・
価格 65,000 円
SVC（試作型）
価格 未定
所在地：〒136-0071 東京都江東区亀戸 6-55-20 大進ビル 3 F 電話：03-5609-5861
FAX：03-3685-6422
担当：サイクル事業部 岡田 康博
-9-

フランスベッド株式会社 東京都
プロファンド
価格 309,100 円
ヤマハモーターエンジニアリング株式会社 静岡県
らいふ・ウォーカー
価格 未定
所在地：〒438-0026 静岡県磐田市西貝塚 3622 番地の 8 電話：0538-37-8314 FAX：0538-37-9416
担当：事業推進部 新事業開発グループ 松本 智仁 電話：0538-37-9444
-10-

京都自転車研究所チャリラボ 京都府
ハンドサイクル「ドラゴンフライ」
価格 123,600 円
所在地：〒606-8204 京都府京都市左京区田中下柳町 7-2 かぜのもこ館 電話：075-721-4522
ホームページ：http://www.chari-lab.com/
-11-


KEIRIN
平成 22 年度 高齢者・障がい者向け自転車の普及啓発事業
「元気になる自転車」をさがして
高齢者・障がい者向け自転車カタログ
2010 年（平成 22 年）11 月
発行／財団法人日本自転車普及協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-3
http://www.bpej.or.jp
（無断転載を禁じます）

◆開催日時：2010年11月22日(月)~25日(木) 午前9時30分～午後5時
◆展示会場：障害者スポーツ文化センター横浜ラポール・エントランスホール
◆展示車両：７台（うち１台は個人の協力者の保有する３輪リカンベント車）
◆広報活動：カタログの配布、試乗会参加モニターの募集、相談・問い合わせ対応等

◆試乗会申し込み書兼事前アンケート

高齢者・障がい者向け自転車試乗会 モニター申込書

（ふりがな）お名前		性別	男 ・ 女
		年代	＿＿歳代
電話番号	（　　）　　－	ご職業	
痛み・障がいの部位			
希望時間	□午前の部　＜9:30～11:30＞ □午後の部　＜12:30～14:30＞ □どちらでも可	付き添いの方の同伴 □あり　□なし	

問1】高齢者向け・障がい者向け自転車があることをご存じでしたか？
□知っている　□知らなかった

問2】普段、自転車に乗っていますか？
□乗っている　□乗っていない

問3】自転車を利用したい理由は何ですか？(いくつでも)
□リハビリに利用したい　□筋力を維持したい　□通院に利用したい
□買い物に利用したい　□通勤・通学に利用したい
□趣味・楽しむために乗りたい　□その他（　　）

※自転車に関するご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

ありがとうございました。

＊＊＊＊＊事務局記入欄＊＊＊＊＊

試乗時間	午前	午後	ゼッケン番号					
自転車番号								
備考								

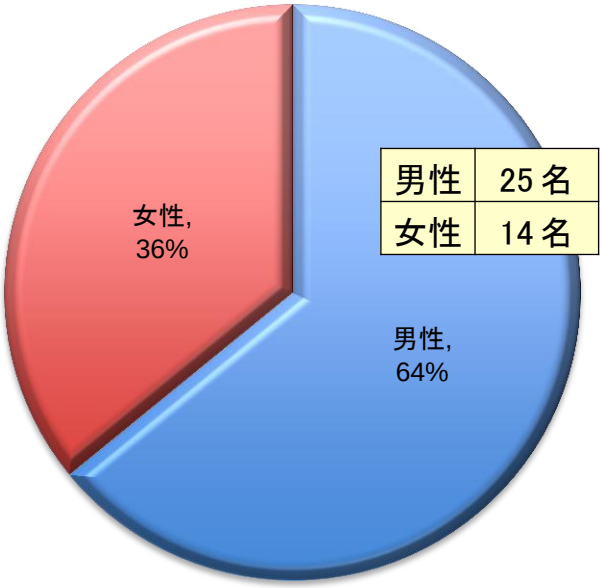
（財）日本自転車普及協会

◆試乗会モニター募集：

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール（以下「横浜ラポール」）のエントランスホールにおいて11月22日から25日まで、来場者に7台の高齢者・障がい者向け自転車を展示し、25日に地下グラウンドで試乗会を開催する旨を広報し、参加モニターの募集を行った。

◆試乗会申込状況：

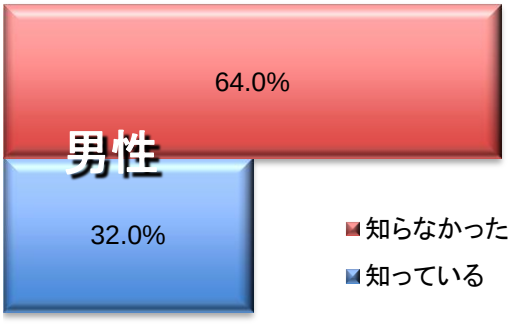
事前の申し込みは39名であった。年間約29万人が訪れる横浜ラポールだが、本来、スポーツのための施設であり、来場者の多くが決まったプログラムにあわせて日程を組んでいるため、試乗会の開催日時と合わないケースが多かった。また、多くの来場者が障がいをなんらかの形で克服し、移動制約を乗り越えるか、それを制約と受け止めないレベルに達しており、ハンディを越えて運転できる自転車へ関心は高かった。展示期間中に訪れた男女の比率はほぼ半々であったが、申し込みでは男性に大きく傾いた。

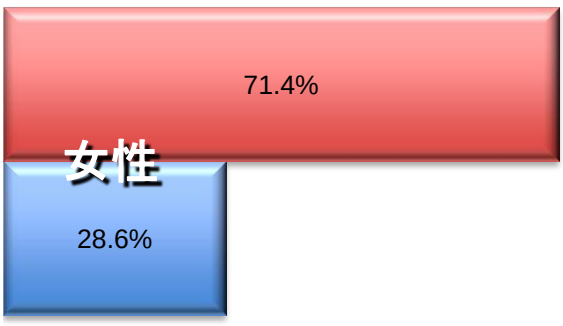


男性	25 名
女性	14 名

事前Q1（高齢者向け・障がい者向け自転車があることをご存知でしたか？）

こうした方面への関心が高いと推測される対象への問いかけにもかかわらず、高齢者・障がい者向け自転車の存在を「知っている」と答えた人は、男女を問わず約３割であった。
性別による差異はほとんどなく、こうした情報の提供が不足していることがわかる。





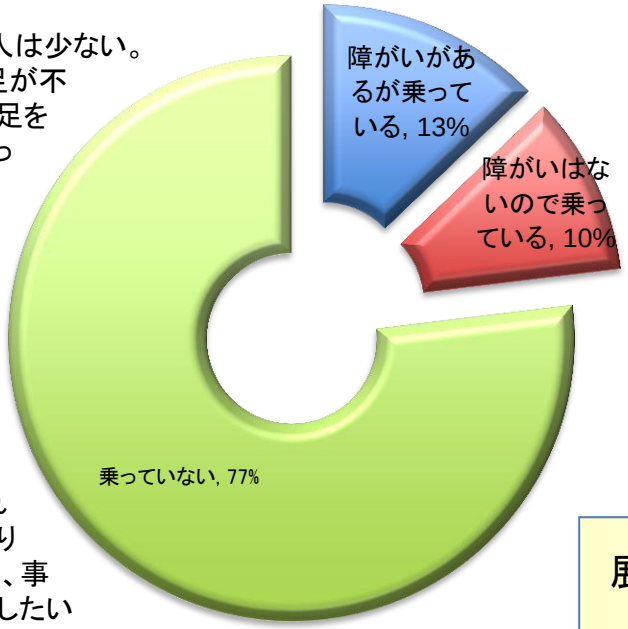
1	男性	08歳	学童	両足、特に右足が動かない
2	女性	20歳代	学生	なし
3	男性	30歳代		腰ヘルニア手術後下半身麻痺
4	男性	40歳代		両下肢
5	男性	40歳代		右足、手が動かない
6	男性	40歳代		右片麻痺
7	男性	40歳代		特に障がいとするほどではない
8	男性	40歳代		肢体不自由、右上下肢機能障がい
9	男性	40歳代		特に障がいとするほどではない
10	男性	50歳代		右片麻痺
11	女性	50歳代	主婦	左下肢
12	女性	50歳代		股関節
13	女性	50歳代		足
14	男性	60歳代		左片麻痺
15	男性	60歳代		右
16	男性	60歳代		右片麻痺
17	男性	60歳代		右片麻痺
18	男性	60歳代		特に障がいとするほどではない
19	男性	60歳代		右前腕切断
20	男性	60歳代		腰、LP脳せい
21	男性	60歳代		右四肢麻痺
22	女性	60歳代		左
23	女性	60歳代		視覚
24	女性	60歳代		股関節
25	女性	60歳代	主婦	右足
26	女性	60歳代		特に障がいとするほどではない
27	女性	60歳代		左片麻痺
28	女性	60歳代		特に障がいとするほどではない
29	男性	70歳代		左足
30	男性	70歳代		左手、足
31	男性	70歳代		右手、右足
32	男性	70歳代		特に障がいとするほどではない
33	男性	70歳代		左肩、左手、握りが弱い、左足
34	男性	70歳代		左半身
35	男性	70歳代		脳こうそく、右半身
36	男性	70歳代		特に障がいとするほどではない
37	女性	70歳代		股関節
38	女性	70歳代		足
39	女性	80歳代		膝、腰

◆申込モニターの年齢層：

8歳から80歳代まで幅広い年代層が申し込んだが、60歳代が最も多く、以下70歳代、40歳代、50歳代となった。20歳代の申込者は、介護について勉強中の学生。40歳代、60歳代で「特に障がいとするほどではない」とした方々は、現在介護中であったり、身近に対象者がいるなどの事情がある。

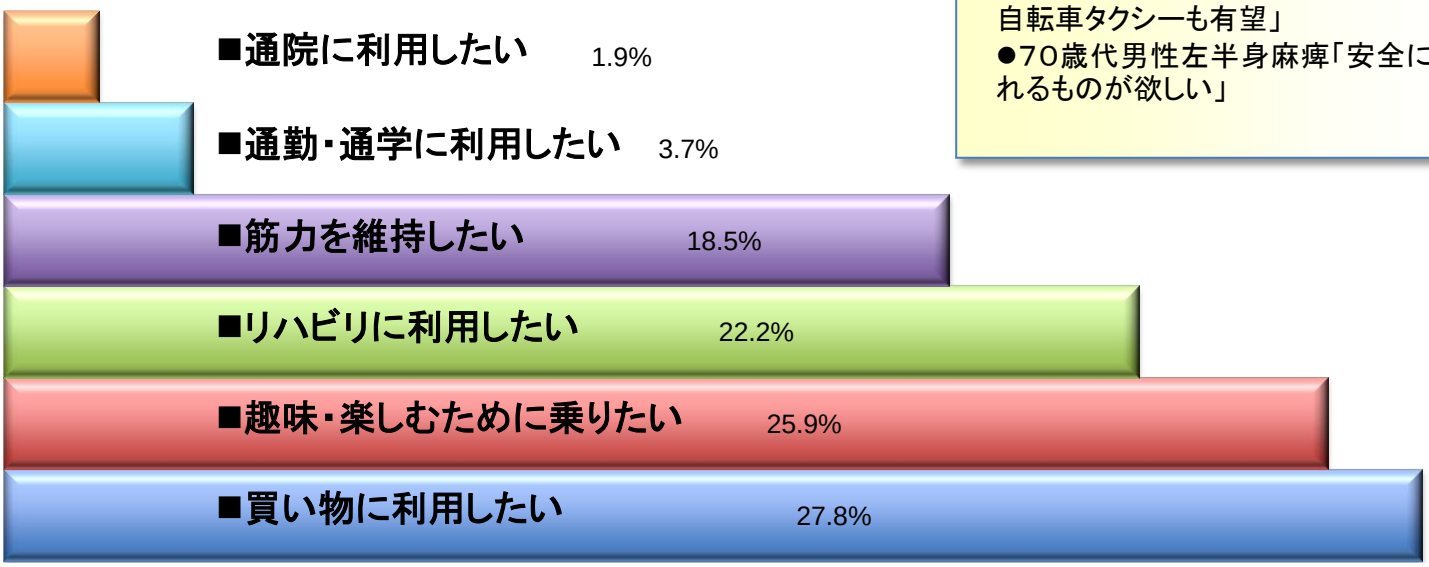
事前Q2（普段、自転車に乗っていますか？）

自転車に乗っている人は少ない。女性では70歳代の足が不自由な方が動かせる足を工夫して自転車に乗っていると答えた。回答した39名のうち、5名が半身や足の不自由を乗り越えて自転車を利用している。乗っていないと答えた人のなかには、ハンドサイクルや自分の障がいをうまく補助してくれる自転車があれば乗りたいとコメントしており、事前Q3（自転車を利用したい理由はなんですか？）との問いに買い物や楽しむために自転車を使いたいと答えているところから、普通に外出したいという要求が根強いことがわかる。



事前Q3自転車を利用したい理由はなんですか？（複数回答）

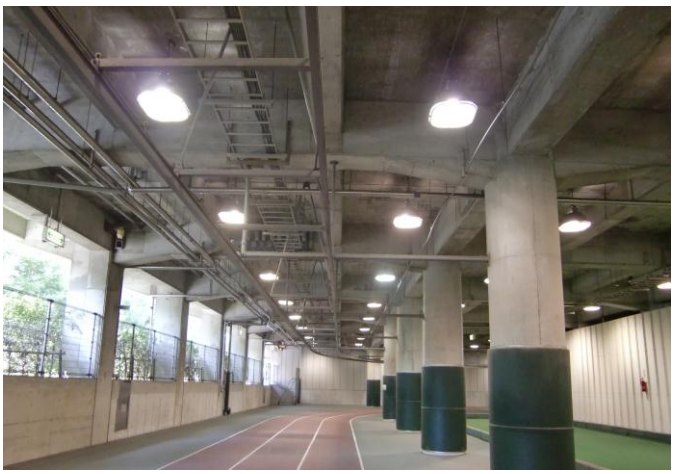
自転車をどのような目的に使いたいか聞いたところ,買い物に利用したいという答えが最も多かった。アンケートに答えた方たちは、政府の調査で600万人以上とされたいわゆる「買い物難民」の典型例であろうと思われるが、高齢者・障がい者向け自転車のような支援器具があれば、身体を鍛えつつ日常生活や趣味などを楽しみたいと願っている。



展示会での事前アンケートに寄せられたコメントの一部

●40歳代男性右半身麻痺「自分にあった自転車があるのかどうか？」
●40歳代男性両足麻痺「ハンドサイクルが欲しい」
●60歳代女性・主婦「普通の自転車は倒れそうで心配　車は駐車スペースが最近ない」
●60歳代男性左腕切断「補助輪があるので曲がるのにむずかしそう」
●70歳代男性「いいものがあれば日常生活に使いたい」
●70歳代男性「狭い生活道路が多いので、コミバスやコミタクも入れないところが多く安定安心な自転車がほしい。自転車タクシーも有望」
●70歳代男性左半身麻痺「安全に走れるものが欲しい」

◆実施日：2010年11月25日（木）
午前9時30分～午後3時30分
◆会　場：障害者スポーツ文化センター
横浜ラポール・地下グラウンド
◆立ち会い人（五十音順・敬称略）：
蔵本　理枝子（整形外科医）
田中　理（（社）横浜市リハビリテーション事業団・横浜市リハビリテーションセンター　常勤顧問）
溝端　光雄（首都大学東京大学院　人間健康科学研究科客員教授）
◆試乗対象車：19台（13社）
◆試乗モニター：37名



◆試乗アンケート

高齢者・障がい者向け自転車試乗会
アンケート調査票

ゼッケン番号		自転車番号	

問1】　直線コースは、楽に走れましたか？
□楽に走れた　□どちらともいえない　□難しかった

問2】　カーブは、スムーズに曲がることができましたか？
□スムーズに曲がれた　□どちらともいえない　□難しかった

問3】　ハンドル、サドル、足の位置は、どうでしたか？
□良かった　□どちらともいえない　□悪かった

問4】　今までの自転車と比べて、乗り心地はどうでしたか？
□良かった　□どちらともいえない　□悪かった

問5】　この自転車を普段、使いたいと思いますか？
□使いたい　□どちらともいえない　□使いたくない

問6】　この自転車に改善してほしいところはありますか？

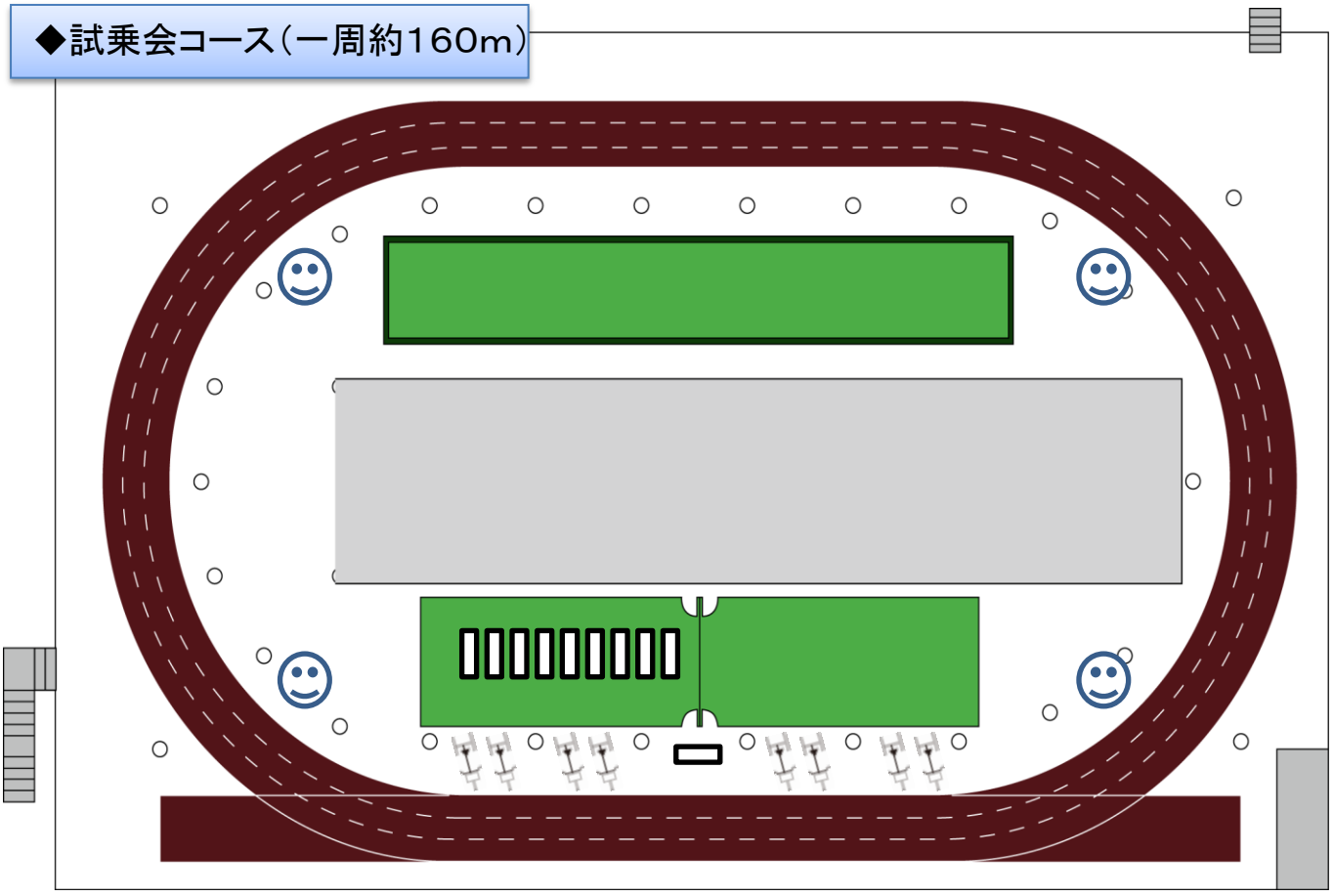
（例）荷物を載せられるようにしてほしい／総重量を軽くしてほしい
デザインをおしゃれにしてほしい／コンパクトにしてほしい　など

問7】　このような自転車のレンタル制度、リース制度があれば利用したいですか？
□利用したい　□どちらともいえない　□利用したくない

※ご意見、ご要望、ご感想など、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。（財）日本自転車普及協会

◆試乗会コース（一周約160m）



あ

リフトン 三輪車
(株)共に生きるために

い

ニュークークル
(株)カワムラサイクル

う

かるがもグランド
(株)カワムラサイクル

え

リハトライク
(株)ARE

お

足踏み式三輪車
堀田製作所

か

ラクラックーンミニ
堀田製作所

き

補助輪付き自転車
堀田製作所

く

LEVEL「優U」
(株)マツダ自転車工場

け

らいふ・ウォーカー
ヤマハモーター
エンジニアリング㈱

こ

ATS-20(仮称)
ブリヂストンサイクル

さ

元気Ⅰ
オートクラフトIZU

し

元気Ⅱ
オートクラフトIZU

す

元気Ⅱ(屋根付)
オートクラフトIZU

せ

サンリオモンテ
サンバイクファクトリー

そ

プロファンド
フランスベッド

た

SVC
紀洋産業

ち

TRINITY DRIVE
(有)宇賀神溶接工業所

つ

補助輪付き自転車2
堀田製作所

て

かるがも
(株)カワムラサイクル

と

3輪リカンベント
参考出展(個人輸入)

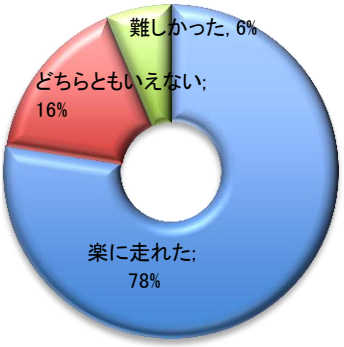
試乗車についての感想

◆それぞれの試乗車に対するモニターの感想をまとめた。(個人差があるので矛盾した記述がある。)

あ		リフトン 三輪車 (株)共に生きるために	シートベルトはいらない。バッテリー(電動アシスト)があると良い。イスが上下にスライドできると良い。
い		ニュークークル (株)カワムラサイクル	ハンドル位置をもっと手前にして欲しい。ペダルは軽くて良いがスピードが出ない。ギアが軽過ぎる。年寄り向きである。スピードが遅い。おもしろい。デザインは良い。
う+て		かるがもグランド (株)カワムラサイクル	楽だが、ブレーキとロックのレバーを間違える。もう少しスポーティなタイプに乗ってみたい。足の固定ベルトなどが欲しい。
え		リハトライク (株)ARE	スピードが早い。止まってる時にもハンドルが切れるようにして欲しい。公道を走るのが大変そうなので、乗ることができる環境(サイクリングロードなどでレンタルするなど)があれば利用したい。ブレーキが慣れない位置にある。こぎだし時に強い力が必要なので、工夫(補助的な足の動きなど)が欲しい。
お		足踏み式三輪車 堀田製作所	思っていたよりこぎやすい。金属の背もたれが痛い。座面のクッションが固い。マヒした足、使えない足を固定できるような仕組みが欲しい。スピードが出るようにして欲しい。スピードよりも安定性重視で良い。この形で軽くして欲しい。坂を登りたい。電動アシストが欲しい。手の力も使えると良い。買いたい。
か		ラクラックーンミニ 堀田製作所	重心が高いのでふらつきやすい。慣れるのに時間が要る。小まわりがきいて安全である。マヒした方のうちヒザや股がフレームにあたる。レジャー用であり、買い物など普段の利用には向かない。
き+つ		補助輪付き自転車 堀田製作所	補助輪のどちらかに重心が移動すると、ちょっとななめになるのが気になる。自転車の楽しみを味わえた。公園などでレンタルして欲しい。子供の自転車みたいで、遊び道具だと思う。日常の生活に使うには抵抗がある。サドルがもっと大きい方が良い。ハンドルやペダルから手足が外れてしまう。
く		LEVEL「優U」 (株)マツダ自転車工場	手足に障がいがあると乗れない。元気な高齢者向けとして工夫されている。普通の自転車との違いがわからなかった。
け		らいふ・ウォーカー ヤマハモーター エンジニアリング㈱	足を動かすことができ、運動になるので満足した。今は車椅子に位置づけられているが、ゆくゆくはもう少しスピードを出せる低速の電動自転車への発展を望む。ペダルに足が出にくい。両足がほとんど動かせないので自分には向いていない。電動のシルバーカーとしても使えると良い。
こ		ATS-20(仮称) ブリヂストンサイクル	今後のリハビリの様子を見て乗れたら乗りたい。電動は本当に楽です。マヒの具合に合わせて、自転車のバランスを変えて作って欲しい。乗りたいが1人では乗れない。
さ		元気 I オートクラフトIZU	前輪の回転式ペダルはふみこみ式の方が良いと思う。手回しハンドルが逆なら乗れたのに残念。
し		元気 II オートクラフトIZU	踏込み式のペダルの効果を高めてスピードが出るようにして欲しい。手で回すハンドルの効果との連動するような工夫があると良い。レジャー用として公園などで乗りたい。使いたい。背もたれがもっと大きいと良い。シートに身体を固定するベルトが欲しい。手の高さやペダルの位置が調節できると良い。
す		元気 II (屋根付) オートクラフトIZU	(モニター試乗なし) 事務局で試乗した感想:振動や風が屋根に伝わり、不気味な共振騒音を発する。その音が運転者の頭から降ってきて全身を包み込み、不安感を与える。屋根の素材を共振しないものに変えるなどして欲しい。
せ		サンリオモンテ サンバイクファクトリー	補助輪付きは子どもの三輪車みたいでかっこ良くない。補助輪のタイヤの音がうるさく感じる。ハンドルが低すぎた。26インチ程度のタイヤに付けられる補助輪が欲しい。身長170cmの場合、足の位置(ペダル)が後ろすぎる。30年前に視覚障がいになり自転車に乗った事がなかったのでとても楽しい体験ができた。
そ		プロファンド フランスベッド	室内用だと思う。公道を走れるタイプに改良出来ると良い。片手レバーで操舵するが、こぐ方に神経をとられるとまっすぐ進むことができずくるくる回ってしまう。なんとなく安定感がない。いままでにない車イスで、慣れが必要だと思う。
た		SVC 紀洋産業	スタートは楽。楽しめて良かった。若干バランスが悪い。乗るには介助がどうしても必要になるが仕方ない。ちょっと重心が高すぎ、ふらつく。遊園地感覚が気に入らない。後ろに重心がかかると駆動輪である前輪が空転する。坂では問題があるのではないか。背もたれは安心感あり、座りやすい。
ち		TRINITY DRIVE (有)宇賀神溶接工業所	ハンドルと座席の間が狭く乗りおりが難しい。一人で乗り込むことが出来ない。試乗したなかで1番快適。カーブで車輪が倒れすぎて不安。改良して欲しい。ハンドルで方向を維持しながら手で回すには力が必要で難しかった。前に小さい補助輪必要なのではないか。座席はスポーツ向きではなく普通のタイプの方が良い。
と		3輪リカンベント 参考出展(個人輸入)	慣れれば乗れると思うが、ものすごいスピードなので公道を走るのは怖い。1人でペダルに足を固定できない。

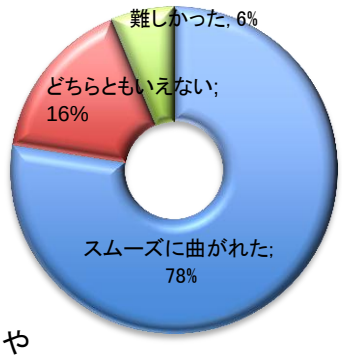
◆37名のモニターが試乗した80回分の評価を分析した。

Q1（直線コースは、楽に走れましたか？）



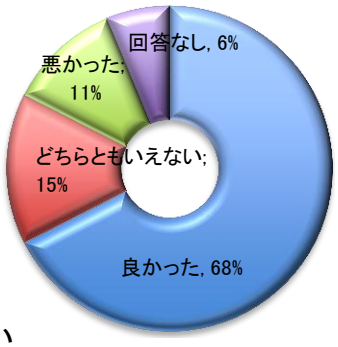
多くのモニターがまっすぐ走ることができた。「難しかった」と答えた5名は男性が3名、女性が2名。40歳代が2名、50歳代が1名、60歳代が2名で、4名は股関節や右下肢、右半身に障がいがある。
◆特に障がいはないとする40歳代男性は「か」堀田製作所・ラクラックーンミニを乗りこなせなかった。普段自転車に乗っていると答えており、乗り慣れている自転車の感覚との差を短時間で解消できなかった。左半身に障がいがある60歳代女性は楽に走れた。
◆股関節に障がいがある50歳代女性は「く」（株）マツダ自転車工場LEVEL「優U」をこぎ続けられず、2輪車のため安定する速度まで到達できないまま断念した。
◆「せ」サンバイクファクトリー・サンリオモンテについて、右下肢の障がいと、右半身障がいのいずれも60歳代男性が難しかったと答えた。補助輪付きだが、停止時の傾きがやや大きく、片手では体勢を支えきれなかった。補助輪の設定を工夫すれば停止時に安定すると考えられる。同じ「せ」に試乗した視覚障がいの60歳代女性と右腕切断の60歳代男性は楽に走れた。
◆右半身障がいの40歳代男性は「ち」（有）宇賀神溶接工業所TRINITY DRIVEをまっすぐ走らせることができなかった。3輪ハンドサイクルであり、転倒する懸念はないため、片手でクランクを回しながら走行方向を安定させられなかった。腰ヘルニア術後の30歳代男性、右半身障がいの40歳代男性、両下肢障がいの50歳代女性らは楽に走れた。

Q2（カーブはスムーズに曲がることができましたか？）



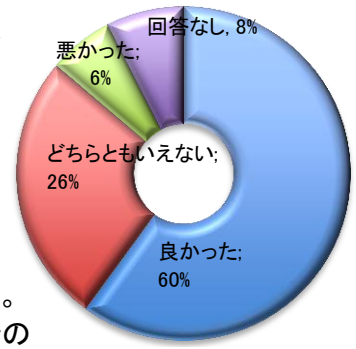
カーブについての回答は奇しくも直線コースとまったく同数となった。「難しかった」と答えた5名は男性3名、女性2名。30歳代、40歳代、50歳代が1名ずつ、60歳代が2名で、全員に股関節、右下肢、右腕切断、腰ヘルニア術後、右半身の障がいがある。
◆「く」（株）マツダ自転車工場LEVEL「優U」を股関節に障がいがある50歳代女性はカーブでも操作できなかった。
◆「せ」サンバイクファクトリー・サンリオモンテは、について、右下肢に障がいがある60歳代女性と、右腕切断の60歳代男性が難しかったと答えた。
◆「ち」（有）宇賀神溶接工業所TRINITY DRIVEを右半身障がいの40歳代男性はカーブでもコントロールできなかった。さらに、直線コースでは問題のなかった腰ヘルニア術後の30歳代男性はカーブを曲がることが難しかった。
◆「え」（株）AREリハトライクは大人向けの3輪ハンドサイクルで、「ち」TRINITY DRIVEがややスポーツ指向であるのに対し、下肢に障がいのある人が買いものに出かけることを想定している。操作には従来の自転車運転とはまったく違った慣れが必要であり、短時間では乗りこなすことが難しかったが、米国などでは長く利用されており、最初の戸惑いを乗り越えれば定着すると思われる。

Q3（ハンドル、サドル、足の位置は、どうでしたか？）



ハンドル、サドル、足の位置については、障がい部位によってさまざまである。「難しかった」と答えた9名は男性6名、女性3名。30歳代、40歳代が1名ずつ、50歳代が2名、60歳代5名で、50歳代男性1名を除いて視覚障がい、股関節、右腕切断、腰ヘルニア術後、右半身、左半身の障がいがある。
◆「か」堀田製作所ラクラックーンミニは、特殊な使い方を想定した足踏み式超小型自転車で、長時間乗るようには設計されていないため、右半身障がいの40歳代男性と左半身障がいの60歳代女性が違和感を訴えた。
◆股関節に障がいがある50歳代女性は、二輪車の「く」（株）マツダ自転車工場LEVEL「優U」に対する苦手意識をぬぐいきれなかった。
◆「せ」サンバイクファクトリー・サンリオモンテは、右腕切断の60歳代男性と、右半身障がいの60歳代男性、特に障がいがないとした50歳代男性がシートの位置に違和感があると答えた。
◆「た」紀洋産業SVCはペダルで前輪を駆動する試作品で視覚障がいの60歳代女性が、ハンドル操作と駆動が一体化していることに違和感を訴えた。
◆「ち」（有）宇賀神溶接工業所TRINITY DRIVEは座席位置が高く、腰ヘルニア術後の30歳代男性が乗りにくいと指摘した。
◆「き」堀田製作所補助輪付き自転車について右半身障がいの60歳代男性が乗ってバランスをとることが難しかった。

Q4（今までの自転車と比べて、乗り心地はどうでしたか？）



高齢者・障がい者向けに工夫されているが、一般の自転車よりも乗りやすいと感じる人が6割に達した反面、これまでの一般的な自転車を利用した経験のあるモニターには戸惑いがみられ、「どちらともいえない」という答えが4分の1を超えた。「悪かった」と答えた5名のうち、普段自転車に乗ると答えたのは右腕切断障がいの60歳代男性のみで、男性3名、女性1名は自転車に乗る機会を持っていない。年代は10歳未満、40歳代、50歳代が1名ずつ、60歳代が2名で、全員に両下肢、股関節、右腕切断、右半身の障がいがある。

◆「き」堀田製作所補助輪付き自転車は、10歳未満で両下肢（右が少し動かせる）障がいの男児にはバランスをとることが難しかった。

◆股関節障がいの50歳代女性は「く」（株）マツダ自転車工場LEVEL「優U」に乗れなかった。

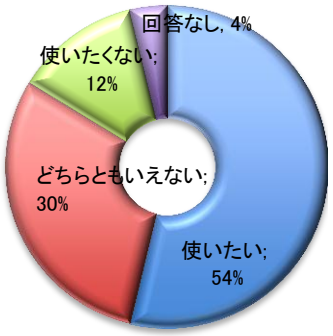
◆「せ」サンバイクファクトリー・サンリオモンテは、右半身障がいの60歳代男性と、右腕切断の60歳代男性から「悪かった」と評価されたが、傾きかけたときに補助輪が支えきれないと思い込んで地面に足をつこうとしてさらにバランスを崩すという悪循環に陥ったためと考えられる。実際には補助輪は確実に車体を支えていた。

◆「ち」（有）宇賀神溶接工業所TRINITY DRIVEは、右半身障がいの40歳代男性が寝そべりがちな乗車姿勢でハンドクランクをうまく動かせなかった。

◆なお、「お」堀田製作所足踏み式三輪車について7名が「どちらとも言えない」と答えた、既に2000台近い実績があり、全国に愛用者がある定番だが、障がいに合わせて細かな設定を行うことで使いやすくしており、今回の試乗車のように普遍性を重視するとかえって良さが実感できない面が出てくる。この車種についてはこのままで乗りやすいと答えた人も9名に達した。

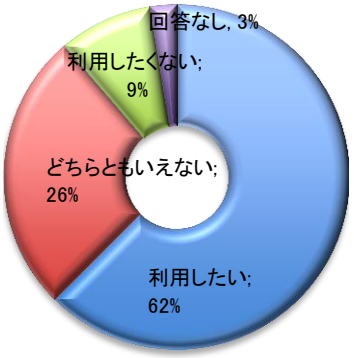
Q5（この自転車を普段、使いたいと思いますか？）／Q6（レンタル・リースなら？）

Q5（この自転車を普段、使いたいと思いますか？）



試乗では乗りこなせたモニターが多く、評価もおおむね高いが、実際に普段使いたいかという問いに、使いたいと答えたモニター43名で全体の54%にとどまった。このうち、レンタルやリースなどの制度を利用したいと答えた人は86%で、利用したくないと答えた人はいなかった。普段使いたいかという問いに「どちらともいえない」と答えた24名のうち、レンタルやリースなどの制度を利用したいと答えたのは9名で、利用したくないと答えたのは2名だった。普段使いたいかという問いに「使いたくない」と答えた10名のうち、レンタルやリースなどの制度を利用したいと答えたのは3名で、利用したくないと答えたのは5名だった。普段使いたくない、レンタルやリースでも使わないと評価されたのは「え」「く」「し」「せ」の4車種だった。

Q6（このような自転車のレンタル制度、リース制度があれば利用したいですか？）



◆「え」（株）ARELリハトライクは大人向けの3輪ハンドサイクルで、子ども用の三輪車をそのまま大きくしたような印象がある。

◆「く」（株）マツダ自転車工場LEVEL「優U」は、乗りやすいようにさまざまに工夫されているが、外見からは一般の自転車との差異が見られない。

◆「し」オートクラフトIZU元気Ⅱは、三輪車で、後部車輪は足踏み式のペダルで駆動、同時に前輪も手回しクランクで駆動でき、手足のどれかの機能が残っていれば前進することが可能なように設計されている。

◆「せ」サンバイクファクトリー・サンリオモンテは、軽量化した車体に高性能の補助輪の組み合わせだが、補助輪単体の販売を求める声があった。

車番	名称	試乗回数
お	足踏み式三輪車	16
え	リハトライク	7
し	元気Ⅱ	6
き＋つ	補助輪付き自転車	9
た	SVC	5
せ	サンリオモンテ	5
と	3輪リカンベント	4
ち	TRINITY DRIVE	4
こ	ATS-20（仮称）	4
か	ラクラックーン ミニ	4
う＋て	かるがもグランド	4
け	らいふ・ウォーカー	3
い	ニュークークル	3
そ	プロファンド	2
あ	リフトン 三輪車	2
さ	元気Ⅰ	1
く	LEVEL「優U」	1
す（対象外）	元気Ⅱ（屋根付）	0

●試乗車の選ばれ方について

試乗会に参加した37名（事前申し込み39名、キャンセル2名）は、自らの障がいにマッチしそうな車種を選んで試乗した。事務局では、乗ることができそうな車種を推薦したが、実際には運転することができずに乗車を断念したケースや、モニターが乗車できないと判断して拒否したケースもあった。今後の課題として、実際に当該車種に乗り慣れたインストラクター（当人が障がい者であることが望ましい）が、実際に乗りこなして見せた上で、モニターに選択させるなどの工夫が必要と考えられる。（右表参照）

●試乗対象車種の選定について

試乗会には、事前調査に基づく「高齢者・障がい者向け自転車案内冊子（以下、「高齢者・障がい者向け自転車カタログ」）」に掲載された11社19車種のうち、株式会社紀洋産業の「風よ・・・（車椅子着脱式自転車後部部分）」と京都自転車研究所チャリラボの「ドラゴンフライ（車椅子着脱式ハンドサイクル）」を除く17車種に加え、事前の調査段階で把握できなかった開発中の製品・（有）宇賀神溶接工業所の「TRINITY DRIVE（3輪ハンドサイクル）」と、3輪リカンベントタイプの輸入品で個人使用されているものが参考出展された。また、株式会社カワムラサイクルの「かるがも」シリーズと堀田製作所の補助輪付き自転車は2台ずつ提供された。オートクラフトIZUの「元気Ⅱ（屋根付）」は、事務局判断で展示のみで試乗には供しなかったため試乗対象車は計19車となった。

主催者側として試乗会について説明する山本部長

産経新聞は写真入りで大きく報じ、全国から問い合わせが相継いだ。

平成23年(2011年)1月25日　火曜日　産経新聞　<第三種郵便物認可>

心も体も「元気になる」自転車

超高齢化社会の〝必需品〟

「元気になる」自転車の開発が進んでいる。自転車を障害者や高齢者も等しく生きる社会の実現の道具としてとらえ、体の〝サビ防止〟につなげようとする試みだ。大手メーカーに限らず、「ものづくり」に情熱を傾けるベンチャー企業も積極的に参加。高齢者や障害者の好奇心をそそるデザインも元気のもとになっているが、一方で走行上の壁が立ちはだかる。

（日出間和貴、写真も）

乗ってみたくなる

「元気になる自転車を求めて」―。平成22年11月、横浜市港北区で、高齢者や障害者向け自転車の普及を目的にしたイベントが開かれた。「元気印」の自転車の中でも、ひときわ注目を浴びた一台があった。

埼玉県朝霞市で溶接業を営む宇賀神一弘さんによる「TRINITY（トリニティー）DRIVE（ドライブ）」という名のハンドサイクルだ。制作費120万円。車椅子とほぼ同じ高さに座席があり、視界良好。手こぎにもかかわらず、優れた走行性で時速40キロは出るという。

コンセプトは「見たこともない斬新な乗り物」。設計に携わったデザイナーの柴田映司さんは「足に障害のある方から注文を受けて設計したが、『障害者向け』という意識を持たないようにした。車椅子の人でも楽しく気ままに遠出ができ、リハビリ目的に限らずに乗れる自転車が普及してほしい」と話す。

マツダ自転車工場（東京都荒川区）の「元気になる」自転車は、変形性膝関節症などで足が痛くて曲げられない人のために開発されてきた。「悪い足の部位に合わせてフィッティングを行う」セミオーダー型で、1台12万6千円。障害者や高齢者にやさしい構造に設計され、ハンディを克服して乗ってみたくなる。

「斬新な乗り物」を思い描いたデザイナーの柴田映司さんがデザインしたハンドサイクル。自転車というより人力車のようなフォルムだ

「自転車専用道」求める声強く

自転車は法律で「軽車両」に区分され、原則的に車道を走ることになっている。しかし、道路交通法の改正（平成20年6月施行）によって、歩道走行が一部認められた。近年、歩行者を巻き込んだ自転車の事故が増加傾向にあり、その対策の一環として「自転車専用道」を求める声が出ている。しかし、小林事務局長は「人と車が錯綜する地域で、車速を下げる『ゾーン30』（時速30キロ規制）などの対策でも一定の効果を期待できる」と話している。

サビつく前に…

リハビリの一環として自転車の積極的な利用を勧めるのは整形外科医の蔵本理枝子さんだ。「車椅子の移動で問題になるのは、使わない筋肉がまったく使われないこと。座っているだけの姿勢によって、股関節やひざの関節が固まってしまう。自転車のチェーンと同じで、人間の体も動かしていないとサビついてしまう」と指摘する。今使える筋肉を駆使することによって四肢の機能向上に加え、出歩くきっかけにもなる。

「元気になる自転車は超高齢化社会の必然」というNPO法人「自転車活用推進研究会」の小林成基事務局長は「欧州を中心にハンドサイクルをはじめ、レベルの高い自転車が開発され、国からも手厚く保護されている」と話す。

一方で、「日本は自転車の歩道走行という〝世界の非常識〟を続けているため、使い勝手のいい、安全設計の自転車が生まれにくい状況にある」と苦言を呈する。

マツダ自転車工場の「優U（ゆうゆう）」。軽量で、乗車時に足をまたぐ位置が地面から18センチと非常に低い（同社提供）

全国各地から集まったメーカー担当者同士の情報交換も今後の開発への推進力に。

「高齢者・障がい者自転車試乗会　ミニディスカッション」
●日時：平成22年11月25日（木）　午後3時30分～
●会場：ラポールボックス
●対象：試乗会参加者、メディア関係者、および一般（事前申し込み不要、当日参加可能）
●形式：シアター　約50人
●パネリスト　（50音順）
　◆蔵本　理枝子（整形外科医）
　◆田中　理（（社）横浜市リハビリテーション事業団横浜市リハビリテーションセンター　常勤顧問）
　◆溝端　光雄（首都大学東京大学院　人間健康科学研究科客員教授）
　・進行役　　小林　成基（NPO法人自転車活用推進研究会）

◇身体を動かすことの大切さ

【田中　理顧問】 横浜ラポールは障がいのある人たちがスポーツを楽しめるように工夫された施設であり、今回試乗会に参加された方も、ここでスポーツを楽しんでいる人が多い。そういう元気な方々でも、ふだん街なかで自転車を乗り回すのは難しい。自転車をこぐというのは、普段は使わない部分を動かすことになり、試乗ぶりを拝見していると、慣れていないだけにたいへんに苦労しておられる。試乗した自転車はそれぞれ、それなりにさまざまな配慮がされていて、感心することが多かった。それ以上に、参加した方々がとても明るく楽しんでいたことが印象的だった。
【蔵本理枝子医師】 趣味としてマラソンや自転車を楽しんでいるが、今回の試乗車に乗ってみて、やはり自転車は全身運動だと再認識した。背もたれが付いている試乗車もあったが、実は自転車に乗って身体を安定させるにも、ふだんは使わない筋肉を使っている。歩いたり走ったりする筋肉と自転車で使う筋肉が違うため、故障して歩くこともままならないのに自転車には乗れるということがあり、身体全体の健康を維持するのに役立つことがある。自転車の新たな可能性を発見できた。
【溝端光雄教授】 高齢者の研究をしている立場からいうと、高齢になると必然的に身体のあちこちに障がいがでてくるので、既に世界一の超高齢社会である日本社会は、さまざまなハンディとうまくつきあうための仕組みづくりが急務になっている。障がいがあると、手厚く守ろうとするのは当然だが、やりすぎると動かせる部分も使わなくなり、寝たきりになりかねない。身体のどこかが動かせるのであれば、楽しみながら動かすようにしていくことが大切。そういうニーズに応える自転車が登場しつつある。

◇今、どこまで進んでいるか

【田中顧問】 私自身、高齢者であまり運動をしていなかったので、試乗を大いに楽しんだ。他の方のお手伝いもしたが、自転車を運転するという前の段階、乗り降りするというスタートで苦労するケースが少なくなかった。まだまだ工夫し、改善していく余地は大きいと思う。
【蔵本医師】 腰痛に悩む方がとても多く、少し歩くと痛くてうずくまってしまうといった場合でも、自転車は自分の体重を自転車が支えてくれ、前傾姿勢をとれれば脊柱管狭窄症の患部への圧力を軽くするので、脚を動かす運動ができ、運動することで症状が改善することもある。安定的に身体を支えるサドルや座席の設計についての研究を進めて欲しい。
【溝端教授】 高齢者のひざの疾患も多くて、低速でも倒れない、試乗車のなかにあったような3輪の自転車などを使えば、ひざにあまり負担をかけないでお出かけができる。閉じこもっていると加齢症状はどんどん進むが、出かけていって物を選んで、おしゃべりしながらお金を払ってお釣りをもらう、こういう日常のあたりまえな行動が、健康と美容、若々しさを維持する上でとても重要。

◇もっと知られて良い存在

【田中顧問】 今回このような工夫された自転車がたくさんあることに驚かされた。毎年、福祉器具の展示会を主催しているが、杖と車イスの間に、自転車の存在があることを認識した。
【蔵本医師】 もうすこしおしゃれ感覚が欲しいと思った。技術的に優れているように思うが、参考出展されていた海外製の3輪リカンベントなどは、フレームデザインも配色も魅力的。特に女性としてはいかにも機械！というものには抵抗がある。使っていて楽しくなる、人に見せたくなるくらいのデザインの製品を開発して欲しい。注目されるようなものができたら、報道ももっと注目し、英知も結集できると思う。
【溝端教授】 知恵を寄せ合うことが大事で、そのためには情報がもっと広がらなければならない。高級なロードレーサーの部品が実はこうした自転車に使えたり、さまざまな最新鋭の金属加工の技術が、もっと安全で使いやすい自由なデザインを実現するかもしれない。まだ、この分野は始まったばかりだが、急激に進む高齢化に対応するためにも各方面の協力と努力が求められる。こうした地道な活動を継続し、多くの理解を得ていくことが大切である。

【以上は要点をまとめたものです。】

◆なお、会場の参加者から、開発のスピードが遅すぎるという不満や、個人差が大きく、対応する自転車が見つからなかった、もっときめ細かな対応を望むなどの意見があった。

自転車は、近距離交通手段として広く日常生活に密着した乗り物であり、近年は地球温暖化問題がクローズアップされるなか、環境に優しい乗り物として注目を集めています。さらに、健康志向が強まるなか、手軽な運動手段としての利用や、スポーツ面やファッション面での関心が高まり、自転車の走行空間整備に動きが見られるなど、自転車に対する社会の期待は高まりつつあります。

一方で、自転車を日常の足として利用したくとも、身体的な運動機能に障がいがあり、利用が制限されている層が存在します。こうした層に対して、ハンディを補う機能や安全を確保する工夫がなされていないため、自転車を利用できない現状があることも事実です。現状では不幸にして障がいを抱えてしまった人々は、残された運動能力を上手にサポートする機能を持つ移動手段が用意されないため、移動の自由を奪われ、とかく閉じこもりがちとなり、そのことがさらに障がいの程度を進行させてしまう悪循環に陥りがちです。一口に障がい者といっても、先天的な障がい、事故や病気に起因する障がい、あるいは加齢による障がいなど、さまざまなケースが想定されます。自転車が生命を乗せる車両である限り、運転上の危険や著しく他の交通に支障を来すことが避けられない障がいの方を対象とすることはできません。このため、視覚障がいや精神・神経の障がいがある層を除外せざるをえませんが、自立的に運転が可能な障がいに限定した場合、日常の買い物や医療機関などに通うための移動手段として利用することが可能な配慮を施した自転車を提供することは、健康維持・改善に貢献するばかりでなく、より豊かな社会生活を送る助けとなり得るものと思われます。

財団法人日本自転車普及協会では、自転車の新たなニーズについて調査研究を行い、平成21年度には障がい者自転車ニーズ調査研究検討委員会（座長：溝端光雄・首都大学東京客員教授）の立ち会いの下、主に国内で開発が行われてきたさまざまな障がい対応の自転車を集め、実際に障がいのある人々の協力の下に、課題や改良の方向性を調査して、自転車の新たな活用の可能性を探る試みを行いました。その結果、加齢によるものや、治癒の可能性を残している足腰の障がいについては、生活のための自転車利用を進めることによって、日常的に運動する機会を提供でき、予防医学の面から症状のさらなる悪化を防止するだけでなく、症状を改善する効果も期待できることが確認されました。このことは、世界一の超高齢社会となった我が国に求められている、医療・介護財政の改善につながる可能性を示唆しており、早急な取り組みを促すべきと考えられます。しかし、その一方で、こうした自転車の存在が一般にはほとんど知られておらず、ニーズが潜在化したままであるため開発意欲が高まらず、行政からの支援は検討の俎上にすら上がらず、道路交通環境や法制面の対応も進んでいない現状も明らかとなっています。

今回は、内外を問わず入手可能な「リハビリテーション効果を有し、日常の自立的な移動を可能にする主に人力による移動装置」としての自転車の存在と主な仕様・概要を調査し、冊子として手軽に閲覧できる形で紹介するとともに、実際に試乗体験した人々の直感的な評価をまとめる過程で、存在を世に知らしめる広報活動を展開しました。超高齢社会に突入したいま、いわゆる買い物難民が600万人を超えているとされる生活環境の見直しを進める一助として、緩速のさまざまな移動手段の充実およびその走行空間の整備が必要とされており、今後とも着実な啓発活動の継続が求められます。

最後に、本事業の遂行にあたっては、当該自転車の開発もしくは輸入に携わっておられる事業者各位、並びに特段のご高配をいただいた社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団をはじめ、多くの関係者のご尽力を賜りましたことを特記いたします。

平成23年3月
財団法人日本自転車普及協会

高齢者・障がい者向け自転車の普及啓発事業報告書
平成23年3月
財団法人日本自転車普及協会
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-3
http://www.bpaj.or.jp/
（無断転載を禁じます）